

| | A プラン | B プラン | C プラン |
|-------------------------|--|--|-------|
| I . 既存課題 に対する 対策 | | | |
| 病棟について (高潮による浸水対策) | <p>【前提】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 西棟と東棟の2F以上(同じレベルのフロア高)に病床を設置 <p>【西棟】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 建替えをする(嵩上げなし) <p>【東棟】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 建替えをしない ○ 2F・3Fを改修し、病棟・リハビリ室等患者スペースとして利用 ○ 上記改修の際には空調などの設備更新や既存設備の地上化も併せて実施 <p>【接続道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 西棟と東棟を接続通路で接続 | | |
| 病床の設置について① | <ul style="list-style-type: none"> ○ 西棟と東棟ともに、2F以上に病床を設置 ○ それぞれの病床については、3タイプの病床(大部屋・中部屋・個室)を運用に支障のないように適切に設置 ○ 上記病床の設置に際しては、男女別病床を設置することを必須とせず、入院患者の状況に応じて、男女別病床を運用上で確保<患者プライバシーの確保> | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 上記病床の設置に加えて、短期・中期入院用の専用病床を設置 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 短期・中期入院用の病床は長期入院用と兼用 | |
| 病床の設置について② (感染症対策) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 陰圧機能を備えた病室を2つ設置するとともに、同じく陰圧機能を備えた言語聴覚療法室を2つ設置 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 病棟フロアについては、上記陰圧機能を備えた病室に加えて、感染隔離ゾーンを可変式で設置(感染者数等状況に応じて、フレキシブルに設置可能) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 病棟フロアについては、上記陰圧機能を備えた病室に加えて、感染隔離ゾーンを固定式で設置(位置や規模については、可変を想定せず、固定することを想定) | |

| | | | |
|-------------------------|---|--|---|
| 空調設備の整備 | ○ 部屋ごとに温度や湿度の個別管理ができるよう整備 | | ○ 病棟フロアごとに空気の流れを考慮して給気・排気装置を適切に整備 |
| 車いす保管場所の確保 | ○ 車いすを患者個々の病床サイドに保管できるスペースを確保 | | ○ 車いすを病床に可能な限り近い位置に、一定数まとめて保管できるスペースを複数確保 |
| 不測の事態への備え | ○ 災害時に通常時と同等の病院機能を3日以上維持できる電源を確保 | ○ 災害時に医療機器や空調設備など機能を限定し、3日以上維持できる電源を確保 | |
| 災害時における施設外への脱出機能 | ○ 災害時においても、即座に外部への脱出を必要としない耐火や耐震機能を具備した建物構造を整備 | | |
| | ○ 上記に加えて、外部に安全かつ迅速に避難できるスロープを設置 | ○ 避難スロープの設置までは要しない | |
| 電気設備・電源設備、給湯用蒸気ボイラー室の整備 | ○ 高潮による浸水、騒音や振動による影響を病棟フロアに与えない設備とメンテナンスのしやすさに配慮した設計 | | ○ 屋上など病床フロアから独立した位置に電気室などを整備 |
| 給排水設備の整備 | ○ 様々な排水（生活排水や特殊な排水）に対して適切な処理を行い、環境負荷の低減に資する浄化設備を整備 | | |
| 医療用ガス等の供給設備の整備 | ○ 医療用ガス等の供給源設備を1ヶ所にまとめて集中管理が可能な形で設置し、配管を通じて手術室・病室などへ医療ガスを安全かつ適切に供給する設備を整備 | | |
| | ○ 上記に加えて、異常の早期発見と速やかな対応のため、外部モニターで供給設備の状態を遠隔で操作・監視可能な体制を整備 | ○ 遠隔操作・監視までは要しない | |

| Ⅱ．自動車事故被害者等のニーズを踏まえた対策 | | |
|------------------------|---|---|
| リハビリ室 | ○ 理学療法室・作業療法室・言語聴覚室（陰圧機能を具備）をそれぞれ専用部屋として設置 | ○ 理学療法室と作業療法室を兼ねた大部屋を設置 ○ 言語聴覚室を専用で設置（陰圧機能を具備） |
| ADL訓練のための部屋（スペース） | ○ ADL 訓練のための専用部屋を設置 | ○ リハビリ室の一区画に ADL 訓練が可能なスペースを設置 |
| デイスペース | ○ 専用部屋を各階に設置 ○ イベント等にも使用できる多目的ルームとしての活用も想定 | ○ 病床に併設する形でスペースを確保 |
| 面会室 | ○ 患者と家族が長時間くつろげる面会室（感染症対策に配慮されたもの）を設置 | |
| 患者家族同士の交流スペース | ○ 患者家族同士が自由に使用できる専用部屋を設置 ○ 主に感染症対策として外部からの入室を可能とし、病棟とは一線を画した形で設置 | ○ 職員が使用する会議室と患者家族同士の交流スペースを兼用する形で設置 |
| 再入院患者への対応のための部屋（スペース） | ○ 療護センターを退院後に再び入院する患者向けの専用病床・専用リハビリ室を設置 | ○ 療護センターを退院後に再び入院する患者向けの兼用病床・兼用リハビリ室を設置 |
| 再入院患者受入れのための外来窓口 | ○ 再入院患者の体の状態を把握するための検査や診察、車いす・装具の調整などを行う専用部屋を設置 | ○ 再入院患者の体の状態を把握するための検査や診察、車いす・装具の調整などを行う部屋を他の諸室と兼用の形で設置 |
| 外気浴や散歩などに必要なスペース | ○ 屋上を活用し外気浴・散歩のための専用スペースを確保 | |
| | ○ 上記に加えて、外出訓練のためのVRルームを設置 | ○ VR ルームまでは要しない |

| | | |
|------------|---|--|
| スタッフ環境の整備 | <input type="checkbox"/> スタッフの研修スペースの確保や e-learning の導入など職員のための研修環境を充実 <input type="checkbox"/> WEB 会議等リモート環境を整備 | |
| 診療部門の位置 | <input type="checkbox"/> 治療や検査等を行うための諸室を機動的に設置 | |
| 厨房の位置 | <input type="checkbox"/> 現状東棟にある厨房を今後も継続して活用 | |
| 機械浴室の位置 | <input type="checkbox"/> 病床フロア毎に設置 | <input type="checkbox"/> 病床から機械浴室までの移動時間や距離を考慮した配置 |
| 患者専用トイレの位置 | <input type="checkbox"/> 病床フロア毎に排泄洗浄室を設置 | |
| | <input type="checkbox"/> 患者の状態に応じて使用可能なトイレを病床近接に設置 | <input type="checkbox"/> 患者の状態に応じて使用可能なトイレの病床近接設置までは要しない |
| 医療材料室の位置 | <input type="checkbox"/> 医療材料の収納、発注や在庫管理を統一的に行うための部屋を集約して設置 | |
| | <input type="checkbox"/> 上記に加えて、病床フロア毎に常時使用する物品をストックするための簡易的な保管室を設置 | <input type="checkbox"/> 簡易的な保管室の設置までは要しない |